

入学のみなさんへ

学校法人安達学園

中京高等学校

学校長 和田 尚

中京高等学校通信制課程へのご入学、誠におめでとうございます。

皆さんは義務教育を終えられ、全国の数ある高校から本校通信制課程を志してくださいました。我々教職員は、皆さんの思いに寄り添い、『卒業』資格獲得と『次のステージ』確定のために、様々なサポートをしてまいります。

皆さんは、過去に誰も経験しなかった新型コロナウイルスの禍の中で約二年間を過ごし、大変難しい高校選択を強いられたと思います。同時にその分、高校への強い思いが本校に託されていると思います。また今まで経験してきた教育体制とは違う通信制という課程を選ばれたところにも、新たな挑戦の気持ちがあると思います。我々は皆さんの諸々の思いを真摯に受け止め、皆さんの高校生活が充実するよう支援していきます。

さて本校の出発点は、大正時代に遡ります。大正 12 年、校祖梅村清光先生が名古屋に創立された中京商業学校がその源流です。昭和 37 年 12 月に名古屋の梅村学園から分離独立して、岐阜県瑞浪市に安達学園として創立され、翌昭和 38 年 4 月に「中京高等学校」が開校されました。創立者安達壽雄先生(旧姓:梅村)は、ご先祖の系譜である江戸時代：水戸藩の『文武不岐』の理念を継承し、教育に邁進された実父梅村清光先生が掲げられた建学の精神『学術とスポーツの殿堂たれ』を受け継ぎ、『真剣味(知育・徳育・体育)』を校訓とされました。本校の揺らぐことのない根本理念です。以来幾多の歴史を重ね、今年で 60 年の節目を迎えます。今までの卒業生は 3 万を超え、社会の中核として活躍しています。

そして平成 24 年に、創立以来 50 年という節目の時を迎えました。半世紀、東濃の地でお世話になった背景を振り返り、『地域への新たな教育貢献』と、時代に合わせた従来にない『新しく個々に応じた学びの場』を提供すべく、同年 4 月に通信制課程を開設し 10 年の歴史を刻みました。今年度から、改めて通信制課程としての飛躍を追求する予定です。

多様化する教育に独自の光明を見出すこの通信制課程は、全日制過程同様に 3 年間で高等学校の卒業資格を修得すべく指導します。添削課題(レポート)、面接指導(スクーリング)を中心として学び、定期考査(テスト)を通じて単位を修得しますが、最大の特徴は、生徒一人ひとりの状況や環境に合わせて科目を修得することが出来ることです。ただし、自由な時間に恵まれているだけに、厳しい自律自助が求められます。ですので、この過程を全うした先には、社会が求める人材としての大きな自信を、掴み取ることが出来ると信じています。

自分のペースをしっかり守り「あせらず」に、そして少しずつであっても「やすまず」に、困難な局面にあっても投げだすことなく「あきらめず」に、目的達成のために一步一步進んでください。我々教職員もみなさんと苦楽を共にしながら、頑張り続けていきたいと思っています。